

放課後なかよし教室

—子どもの家（放課後児童クラブ）との連携型—

■連携型の概要

保護者や地域の人と協力して、子供たちを健やかに育むため、各小学校の余裕教室などを利用した「放課後なかよし教室」を設置し、運営しています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・市内36校で実施しています。
- ・定員を設けていないため、誰でも自由に参加できます。
- ・工作や本の読み聞かせなど、子供たちが楽しく参加できるように活動内容を工夫して実施しています。

■連携型で実施するプログラム内容

- ・縄跳びやサッカーなどの外遊び
- ・イベントの共催

■課題

- ・スタッフの安定的な人材確保
- ・スタッフが休暇を取得した際の応援体制の構築
- ・登録費用のキャッシュレス対応

■成果

・他学年との交流や、工作、読書、ゲーム遊びなどを行うことで、多様な体験活動の場の提供ができています。また、参加人数に応じ、複数の部屋や体育館等での活動ができています。

・学校に行きづらくなったものの、放課後なかよし教室に参加する児童もいます。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

平均25人/日

■主な活動場所

余裕教室、図書室、体育館など

■指導員数

約3人/教室

土曜チャレンジ・アップ教室

—地域と連携したプログラムの実施—

■概要

地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子供たちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。

■特徴的なこと・工夫していること

- 参加者は費用負担なく、様々なプログラムを楽しむことができます。
- 大学生や法人の方の協力を得て多様な内容のプログラムを開催しています。

■プログラム内容

科学実験、英語講座、貯金箱工作 等

■課題

子供たちに有意義な土曜日を提供できる担い手の確保

■成果

- 他学年との交流や多様な体験活動の場の提供ができています。
- 楽しんで学ぶことができるような内容を提供できています。

■活動の様子



■開催状況

1校あたり年2～6回

■主な活動場所

家庭科室、図工室 等

■参加人数

約15人/回

■指導員数

2～5人程度/回